

共産党愛知県議団は、8月から9月にかけて運動団体と県との話し合いに参加してきました。以下に紹介します。

中小業者施策の充実を 愛商連 県との話し合い 9月12日



発言する、わしの県議

愛知県商工団体連合会(愛商連)と愛知県との話し合いが9月12日に開催されました。

愛商連は、①愛知県地方税滞納整理機構を解散して人権無視の納税強化や差押えをやめること、②中小企業向け金融施策の大幅な拡充・改善、③高すぎる国保料の引き下げなどの社会保障について、④中小業者予算の引

上げなど中小企業施策の充実などを愛知県に求めました。

愛知県は、「中小企業は県内企業の99.7%を占めており、そのうち小規模事業者が83.2%・18万3800社あり、『産業労働ビジョン』の1丁目1番地は中小企業・小規模事業者の企業力の強化で、施策の大部分が中小企業向けで、中小・小規模企業への支援施策はいつも検討している」と述べました。

わしの議員は、「中小企業振興基本条例に期待しており、みんなが安心して商売できるようにしてほしい。そのために私も頑張りたい」と述べました。

学童保育の充実を 学童県連協の県との話し合い 9月6日

愛知学童保育連絡協議会(県連協)は愛知県との話し合いを9月6日に持ちました。

話し合いでは、指導員の処遇改善は保育料を上げなければならないが、保育料を上げると親が子どもを預けられないという実態が出されました。埼玉県では県の単独補助が行われていることも示されて、県の施策の充実が訴えられました。また、保育料の減免への補助や新制度実施に伴う格差是正に向けた取り組みなどが要望として出されました。

愛知県は、「市町村がまずやるのが学童保育の仕組み、県の単独補助は難しい」という態度でした。

しもおく議員は、「格差と貧困の中で学童のニーズは高い。もっと実態を把握し、国に要請するだけでなく県独自の取り組みをすすめるべきだ」と訴えました。



発言する、しもおく県議

あい共連の県との話し合い 8月1日



話し合いに参加する、しもおく・わしの両県議

あいち保育共同連合会(あい共連)は愛知県との話し合いを8月1日に行いました。

あい共連からは、県単独補助金の拡充、待機児童の解消、子ども

の食事の充実(調理師の専門性の確立やアレルギー食の実施等)、看護師の配置による健康教育の充実などの要望・意見が出されました。

愛知県は、単独補助金については来年度以降も堅持していきたい、国に対しては16都道府県で要望をしていきたいと述べました。